

1. 推進室が中心となった活動のこれまでのスケジュール
2. 主な LC 関係活動内容（推進室以外の活動含む）の要約

4月

- 推進室活動開始
- ITRP at SLAC (4 / 27 - 28) 対応

5月

- 5 / 18 推進委員会
- DGO ホストに関して立候補するための対応
(管理局、大森氏、浦川氏と合同作業)
- ITRP at KEK (5 / 25 - 26) 対応 (多くの方と協力)
 - 資料作り・議論 :
 - コストに関してプレゼンテーション方針策定
 - ITRP Q&A 対応 : 特に Q33
 - クローズドセッションの対応
 - 企業展示関連—浦川氏、菅原氏らと協力
 - LC 研究会パンフレット作成協力
 - さまざまな準備作業
- ALCSC・Namkung さん対応
- 加速器と合同で加速器 Review 開始
- 加速器担当者会議との合同会議開始

6月

- ITRP での評価で建設コストを考慮対象にしないことに賛同
- 物理測定器予算議論開始 (6 / 12) —大学関係と
- 特定領域プレゼンテーション (6 / 14) 資料対応
- ITRP at Caltech (6 / 28 - 30) 対応
- GDO central team ホスト立候補
- GDE/GDI 設立へ向けた MoU 関連協議・対応

7月

- 概算要求資料作成・対応
- 全体スケジュール表作り準備 (宮本氏に依頼)
- CERN Council 及び FALC への対応協議
- ITRP 結論後の対応に関して議論開始
- ACFA・ALCSC と regional team、central team に関する議論開始
- 7 / 30 の推進委員会の準備

8月

- 8 / 3 Namkung 氏と KEK にて協議

主な LC 関連の動き・活動内容の要約

1. ITRP 関係 A :

(ア)ITRP 委員長より機構長あて問い合わせ : LC 建設・運転経費評価と技術選定勧告との関係について (趣旨 : Cost 評価は決定的 discriminator にはならないと考えられる)。応答は 6/24 ころ Email にて送付。

2. ITRP 関係 B :

(ア)第五回会合 : 6/28-30、Caltech にて開催。

(イ)出席者 : Panel 委員全員を含め、総勢約 50 名。日本より : 横谷、峠、山本 (東北大)、山下 (東大 ICEPP)。

(ウ)資料 URL : http://www.ligo.caltech.edu/~donna/ITRP_mt5.htm。GLC/NLC から ITRP への追加説明+開発状況更新 : <http://lcdev.kek.jp/ITRP/KEK/>。

(エ)初日 Agenda (Open Session) :

CLIC 状況、

Cold option updates (US および TESLA)、

Machine-Detector Interface 諸課題と Warm-Cold 選択の関係について報告。発表内容整理は WWLC が組織。日本から山本。

詳細は、横谷メモを参照。

(オ)二日め以降 : Closed Session。ITRP からの 34 ヶ条質問への応答レビューなど。Panel 委員のみの協議 (Warm/Cold Expert も退去)。

(カ)次回 : Pohang にて、8/11-13。Closed Session のみ。技術選定勧告合意を目指す。

(キ)ITRP recommendation 決定後、ICFA/ILCSC からの発表声明文案について打診あり。

3. 科研費特定領域 : 6/14 に東京にて聴聞会開催。出席は戸塚、横谷、浦川。発表資料を推進室にて準備整理。ただし、残念乍ら H16 年度採択は成らなかった。

4. LC 研究会米国訪問団 : 6 月半ばに米国主要研究所を歴訪。KEK から浦川が同行。

5. コスト評価・低減策タスクフォース : LC 研究会と活動指針について協議。担当責任 : 榎本、上野。年末までの大まかな流れは如以下。

(ア)2004 年春評価の総括。

(イ)問題点と課題について Brain-storming。

(ウ)H17 年度にむけた Action Plan 策定。

6. 推進室活動広報：推進室、担当者、推進委をこえた、幅広い読者向けの簡潔にして要を得た活動広報が必要と認識。対応準備：山下。
7. GDI (Global Design Initiative) 関係：
 - (ア)GDI Central Team ホスト立候補：5月に M.Tigner から招請あり。6月末 Email にて KEK 立候補の旨応答。
 - (イ)GDI/GDO にかんする Memorandum of Understanding (MoU)：第ゼロ次ドラフト作成 M.Tigner、S.Ozaki、R.Rubinstein。6月末にドラフトへの意見招請機構長まであり。7月初めに応答。
8. LC 開発総括レビュー：ITRP@Caltech ほかのため中断中であったが再開。7/13に GLCTA 加速管高電界試験について。
9. LC 関係作業グループ間の活動連絡連携：GLC 活動カレンダーの素案を作成（7月はじめ、宮本）。これをベースに夏休み中にシステム完成を目指す。
<http://jlcsv3.kek.jp/schedule/index.php> 参照（KEK zone）。
10. H17 年度概算要求：6-7月に概算要求付帯資料の準備、調整を行った。
11. LC 関連の KEK 長期計画・方針：具体的作業は端緒についたばかり。以下の論点を考慮のうえ方針立案の必要あり。
 - (ア)総合科学技術会議の文脈。
 - (イ)LC 技術が warm、cold の場合。
 - (ウ)LC 建設が on-shore、off-shore の場合。
 - (エ)KEK 部内組織再編成？KEK・日本国内の human resource 取り回し。
 - (オ)Asian Regional Team の編成。
12. 今後の大まかな流れ（と思われるもの）
 - (ア)8月3日：W.Namkung 氏来訪、ALCSC 関連協議。
 - (イ)8月11-13日：ITRP@Pohang
 - (ウ)8月16-22日：ICHEP'04。Beijing。
 - (エ)9月？：ITRP 決定を踏まえ、長期計画、組織に関する具体的立案。
 - (オ)夏・秋：GDI Central Team への対応。Regional Team 編成。Central Team Host 選定への対応。
 - (カ)秋・冬：GDI MoU 最終化、署名。起動。

以上、